

**一般社団法人 北海道中小企業家同友会
オホーツク支部**

**「オホーツクビジョン」
説明資料**

オホーツクビジョン策定の背景

オホーツクに迫る外的影響や地域が抱える課題に対し、都市部にはない魅力や強みを見出し活かすことが急がれている

背景とオホーツクの抱える課題

経済のグローバル化

人口流失

少子高齢化社会

事業承継問題

人口減少社会

人材不足

オホーツクの強み

豊かな一次産業

貴重な自然環境

観光資源の可能性

経済的指標に表れない、「ここにしかない価値」が 「幸福度」という尺度から見える

豊かな自然と、暮らしの豊かさ

流水がくる
オホーツク海

おいしい食べ物

世界遺産を含む
3つの国立公園

アウトドアの聖地

四季折々の移り変わり

包容力

…Etc.

地域の幸福度は企業活動と密接につながっている

地域住民

暮らしの価値を提供する**顧客**

目的と時間を共にする**従業員**

互恵関係を築く**取引先**

企業が追求

顧客満足

従業員満足

取引先と共存共栄

企業が良くなれば、
顧客・従業員・取引先 = 地域住民
の幸福度も高くなる！！

オホーツクビジョン の幸福度の分類

主観的幸福に必要な要素

人・地域・自然 とのつながり

理解

受容

共有

一人ひとりの 豊かさ

感じ考える力

寛容な心

元気な身体

社会経済環境 の充実

元気な経済

安心な社会

豊かな文化

持続可能性

オホーツクビジョンのイメージ

「幸福度の高い持続可能な地域社会」というビジョンを共有、目指すべき姿を具体的にイメージすることで、中小企業だけでなく、行政や住民、地域全体が連携を深める。

目的

- ・オホーツク地域が雄大な自然と共に持続可能な発展を遂げ、住民一人ひとりが**幸福**で豊かな暮らしを営み、人生を謳歌すること。

目指す姿

- ・『人・地域・自然とのつながり』
- ・『一人ひとりの豊かさ』
- ・『社会経済環境の充実』

方針

- ・19の方針によって構成

SNS
プロジェクト

戦略・目標・アクションプラン

生産性UP
研究会

- ・今後、方針に従って策定（同友会・各企業・連携先）
※一部既にスタート動いているプロジェクトも有り。

オホーツクビジョンの【目的】

オホーツク地域が

雄大な自然と共に持続可能な発展を遂げ、

住民一人ひとりが幸福で豊かな暮らしを営み、

人生を謳歌すること。

オホーツクビジョンの【目指す姿・方針】

1. 『人・地域・自然とのつながり』

母なるオホーツクの自然に感謝し、ふるさとを想う気持ちで結ばれた人と人が多様性を認め支え合い、地域と地域が活発な交流で高め合う「関係づくり」

1－1. 地域を元気にするコミュニティの活性化

1－2. 地域内外の新しいネットワークの形成

1－3. 多様な連携と共働ができる社会システムの実現

1－4. 畏敬の念を持ちながら一人ひとりが参加する自然保護

1－5. 天然資源を保全し活用する持続可能な仕組みづくり

オホーツクビジョンの【目指す姿・方針】

2. 『一人ひとりの豊かさ』

新しい時代を切り拓く知性・感性と、真の豊かさを知る寛容な心、そして生涯元気な身体を持つ「人づくり」

- 2-1. 心身の基礎を培う自然体験
- 2-2. 地域の特性を活かした体験学習
- 2-3. 先人から継承した地域の歴史教育
- 2-4. 心身を鍛えるスポーツ振興
- 2-5. 想像力を育む文化活動振興
- 2-6. 生きがいを支える生涯学習
- 2-7. 生涯いきいき活躍できる健康生活

オホーツクビジョンの【目指す姿・方針】

3. 『社会経済環境の充実』

持続可能で自立した元気な経済、世代を超えて安心して暮らせる社会と、次代に向けた新しいオホーツク文化の創造を目指す「環境づくり」

- 3－1. 地域資源の高付加価値化と地消地産の追求
- 3－2. 持続可能で効率的な社会基盤の形成
- 3－3. 誰もが魅力を感じる労働環境の実現
- 3－4. 安心して出産、子育てができる環境の整備
- 3－5. 時代を先導する医療・福祉の推進
- 3－6. 愛着が湧く文化的なまちづくり
- 3－7. 自然の恩恵と生活の質を大切にする暮らしのすすめ

オホーツクビジョンの【アクションプラン】

現在進行中のプロジェクト

・生産性UP研究会	従業員1人当たりの生産性を上げるための研究会。
-----------	-------------------------

今後予定しているプロジェクト

・アイコンデザインコンペ	ビジョンの19の方針に対するアイコンを一般公募し、そのアイコンを幸福度の高い地域というイメージ醸成に活用。アイコンを広告や名刺、店舗の入り口に表示するなどし、地域の様々な場所で露出する。
・SNSプロジェクト	インスタグラムを利用した地域内ネットワークの形成も狙った地域プロモーション。オホーツクの食、景色、文化などの写真を一般の人に投稿してもらい、その投稿をコンテストで審査・表彰する。誰でも参加可能で楽しみながらオホーツクの暮らしの魅力を写真で発信し、競い合うことでオホーツクをPR。
・空港PRプロジェクト	オホーツクの玄関口である女満別空港をPR

これまでの取り組み



提言

幸福度の高い持続可能な地域社会というビジョンを共有し、
目指すべき姿を具体的にイメージすることで、…

オホーツクの方向性が明確になり、中小企業家たちを活気づける旗(フラッグ)になる。

中小企業だけでなく、行政や住民、地域全体が連携を深めることができる。

同じ旗の下に力を結集することによりスケールメリットを発揮する。

旗を掲げることでオホーツクの素晴らしさを地域内外に強く発信できる。

地域の価値を再認識し、地域に更に誇りを持てる。

賛同者が定住、移住することで人口減に歯止めをかける。

…Etc.

オホーツク版
SDGs

突破口

オホーツクの求心力となるよう
共に活用しましょう！！

今後の動き

プレスリリース

7月を予定。

アイコンデザインコンペ

7月公募開始、8月末締め切り。9月選考、結果発表。

会内外で
アイコンの活用

アイコンが完成次第活用。

SNSプロジェクト

準備進行中。

空港PRプロジェクト

SNSプロジェクトに合わせて実施予定。

中小企業家しんぶん

オホーツクビジョンの取り組みを全国の会員に発信。

生産性UP研究会

同友会内で不定期開催中。

他団体との連携

オホーツクビジョンに共鳴していただける団体と今後連携したい。

・・・Etc.